

学校での取り組み

児童が赤ちゃんの抱っこや妊娠中の方のおなかに触れてみるなどの体験を通して、命の大切さ・尊さを学びながら育児体験をする取り組みが行われています。

その一つとして、十月十一日(火)、厚別西小学校で、小学二年生と就学前の親子・妊娠中の方、地域の各種団体が交流する「子育てHAPPYトークⅣ」が行われました。

参加した児童は、親子とおしゃべりをしたり、赤ちゃん



▲赤ちゃん抱っこ体験
◀おなかタッチ体験



を抱っこしながら、交流を深めました。

また、青葉中学校の学校祭に、地域の団体が「なかよしひろば」と題したキッズコーナーを設け、中学生と親子が交流するなどの取り組みも行われています。

これからは、学校・親子・地域社会が連携して「子育て」にかかわることが、将来の子育て支援の礎となっていくのではないのでしょうか。

未来につながる子育て支援

将来、親になるであろう生徒・学生もボランティアとして、子育て支援活動に積極的に参加しています。

地域住民による子育て支援活動は、人生経験豊かな年配の方だけでなく、生徒・学生などの多くの子育て支援ボランティアの方に支えられています。

十月二日(日)、上野幌公園で開催された「ふれあい・あそびの広場」に参加した札幌啓成高校のボランティアサークル(登録百二十八人)に活動への思いを聞きました。

高校生インタビュー

▼子育て支援活動に参加してみた感想を。

石井 自分たちも楽しんでやっていると子ども笑顔を見ていると幸せな気持ちになります。

柚原 目線に合わせてしゃべるなど、子どもからいろいろなることを教えてもらっています。

▼大変なこと・苦労することは、

和田 子どもたちのルールを理解してもらえないように説明するのが難しいですね。

▼この活動から学んだことは？

石井 ありがとうという感謝の言葉を素直にいえる純粋な気持ちかな。



▼子育て支援活動への思いを一言。3人 この活動に参加して、子どもがもつと好きになりました。これからも地域の子育て支援を盛り上げていきたいです。

▼最後に、顧問である石井教諭から石井教諭 生徒が積極的に行動してくれるのが、なによりうれしいです。この経験が社会に出るとき役立ち、将来、地域の交流を企画するようになったらいいですね。この子たちのような人が増えていけば、札幌市の未来はきっと明るいですよ。



札幌啓成高校ボランティアサークルのみなさん

(写真左から)
和田 奈枝子さん(1年 副事務局長)
石井 文菜さん(3年)
石井 透 教諭
柚原 菜摘さん(2年 事務局長)

地域の子育て情報板

子育てホームページ

子育て中のお母さんたちが編集委員会を作り、区役所と共に運営しているホームページ「KA・YELL」が10月にリニューアルして、子育て情報がさらに充実しました。



<http://www.galaxy.city.sapporo.jp/atsubetsu/kosodate/>

にこにこルーム

子育てのヒントやアイデアが満載の情報室です。子育ての「お役立ち情報」がいっぱいです。お気軽にお立ち寄りください。

利用時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始は除く)
午前8時45分～午後5時15分
場所 厚別区民センター1階
子育て支援担当事務室内
電話 895-2400内線507

育児に関する相談電話
☎894-0874

これからの子育て支援

地域での子育て支援活動は、親子の居場所や仲間と出会う場のみでなく、地域での世代間交流の場にもなります。

子育ては、家庭だけの責任ではありません。近所の人や関係機関が連携して、「近所付き合ひのある地域づくり」を行い、地域全体で支えていく子育て環境づくりをする必要があります。

区役所では、今後も地域の皆さんが行う子育て活動を支援し、地域と親子のつながりを作るための橋渡しの役割を担ってまいります。

皆さんも、地域の子育てサロンや子育てイベントなどに積極的に参加し、関心を持って親子を見守っていきましょ

子育てサロンの情報は、厚別区役所ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>) にも掲載しています。